



林 声

2015

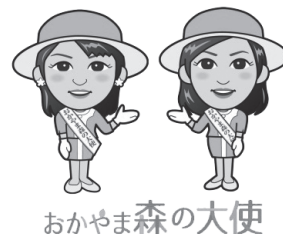
3 月号



真備町たけのこ生産組合の会長^{いまだみのる}今田 稔さん（左）と前会長の^{かわはらくにひこ}川原邦彦さん（右）に手入れの行き届いた川原さんの竹林を案内していただきました。（詳細はP 2に記載）

目 次

岡山・森林列伝（今田稔さん、川原邦彦さん）……	2	技能講習会、イベント情報……………	11
がんばる認定事業体（戸川木材）……………	3	林産物市況……………	12
普及指導区の情報（岡山支部）……………	4	事務局からのお知らせ……………	14
普及情報（森林作業道作設オペレーターの育成）…	5		
高性能林業機械の保有状況……………	6		
研究だより（木材加工研究室）……………	7		
C L T 関連情報……………	8		
おかやま森づくりサポートセンターからの紹介 …	9		
山火事の防止……………	10		



おかやま森の大使

岡山・森林列伝 〔倉敷普及指導区〕

一 はじめに

倉敷市真備町で特産品のタケノコ生産に取り組んでおられる真備タケノコ生産組合組合長の今田稔さん（74歳、真備町有井在住、所有竹林面積20[㊦]）と前組合長の川原邦彦さん（69歳、真備町箭田在住、所有竹林面積40[㊦]）からお伺いしたお話を紹介をします。真備タケノコ生産組合は、現在、組合員数140人、平成26年の出荷量は184tで、その内、缶詰用が127tとなっています。

二 タケノコの生産

この地域では2月下旬頃からアケが少なく風味や歯応えが良く高価で取引される早出しタケノコの出荷が始まります。4月10日頃から一気に生産量が増え、加工用が多くなります。4月20日頃が出荷のピークで、5月連休頃には終わります。

掘り取りは、朝早くからの作業となります。「つき棒」という専用の鉄の棒を使い、タケノコに傷

をつけないよう気をつかいながら行っています。タケノコの運搬には、運搬車と軽トラックを用いています。



つき棒で掘り取り



搬出作業

収穫したタケノコは、刺し傷等があれば除外し、根を切り直して、大きさや色目を揃え、仕分けを行います。

鮮度を保つため、箱詰めしたら11時頃には市場へ出荷します。翌日には競りにかけられ、岡山、倉敷、福山などで販売されています。タケノコの実産は重労働ではありますが、「真備」のタケノコを楽しみにしているお客さんの存在が我々の励みとなり精を出しております。

三 収穫後の竹林の整備

収穫の終わった5月中旬頃には掘った穴にできるだけ多くの礼肥（れいごえ）を入れていきます。ササゴ（小さい芽）が地表に出てくるので、9月頃まで毎週切り取りをします。また、発生した年号を竹に釘で記載し、竹齢を把握しています。

盆明けから

9月頃にかけて、親竹を残して色が黄みかかっている7～9年生の竹や枯れかけている竹を伐っています。



12月から1月にかけて土入れ作業や寒肥をすればタケノコは丸みのあるものが多くなります。

四 「真備」のタケノコの消費拡大に向けて

平成24、25年度に生活交流グループの若竹会と穂先タケノコを活用した料理を実施しました。人気があったのはメンマやタケノコのタイ飯などでした。また、組合員の竹林でタケノコ祭りを毎年4月中旬の最盛期の土曜日に開催し、消費者との交流を図っています。

五 終わりに

倉敷普及指導区としても、今後とも真備タケノコ生産組合の活動とタケノコ生産振興を支援していくこととしています。



（倉敷普及指導区 大森章生）

特集

がんばる認定事業体
株式会社戸川木材の紹介
【新見普及指導区】

一 はじめに

今回は、岡山県北西部の新見市哲西町で素材生産を手がけている「株式会社 戸川木材」を紹介いたします。

二 (株)戸川木材の概要

(株)戸川木材は平成8年に有限会社として設立され、平成18年に株式会社組織変更されました。

社長の戸川睦徳氏(51歳)は、素材生産の効率化と作業の安全性を高めるため、高性能林業機械の導入を積極的に進めてきました。

新しい作業システムの開発にも積極的に取り組み、リーチの長いグラップルを独自に製作した実績もあります。

現在、従業員は事務職員1名、現場職員12名で業務に取り組んでおり、現場職員の年齢は、20代1名、30代5名、40代2名、50代2名、60代2名と若手を中心としたバランスの良い年齢構成となっています。

なお、現場職員のうち1名は、

主に機械の修理・メンテナンスを行っており、機械不具合の早期発見や修理の早期完了によって、機械修理経費の削減や機械稼働時間の確保を図っています。

三 事業活動の状況

事業活動は、高性能林業機械を活用した素材生産を3班体制で行い、平成25年度は約22,700立方メートル(うち間伐にかかるもの35%)の実績をあげています。

作業は、ザウルスロボを活用した作業道開設、ハーベスタまたはチェンソーによる伐倒、スイングヤーダによる集材が主体となりますが、現場状況によっては、集



戸川木材の皆さん(前列中央が戸川睦徳氏)

材作業は単胴ウインチに頼らざるを得ない場合もあります。その際、荷掛手には運搬するワイヤーロープの重さが負担となるため、重量がワイヤーロープの約6分の1と軽量なダイニーマロープ(ポリエチレン繊維ロープ)を使用し、労働強度の低減を図っています。

また、伐採現場の近くには中間土場を設置し、製材所等が必要とする木材の品質及び径級等に対応した仕分けを行うとともに、運搬には大型のトレーラーを使用することで木材の輸送コストの削減を図っています。

このため、現在では、素材生産量の8割以上が製材所等への直送販売となっています。

さらに、平成25年度末には移动式木材チップパー、平成26年度にはチップ運搬用の10トントラックを導入し、木質バイオマス発電事業への供給体制を整えています。

四 今後の事業展開について

平成27年度に真庭市で操業を開始する木質バイオマス発電所へのチップ販売についても、運搬距離が長いという輸送コストの面で不利な状況ではありますが、価格等条件の協議を進めながら、県内で

始まる新しい取り組みに対しても対応していかれる方針です。

五 おわりに

新見市哲西町において、素材生産の効率化、安全作業の推進、経営の多角化に熱心に取り組む戸川木材の今後のご活躍を期待するとともに、新見普及指導区として支援を続けたいと考えています。



移动式チップパーと10トントラック

(林業普及指導員 黒瀬勝雄)

普及指導区の情報【岡山普及指導区】
「県民参加による森づくり活動」

一 はじめに

岡山普及指導区は、中心部に都市部を抱え、地域の環境保全に対する関心の高さから、住民や企業による森づくり活動が盛んに行われています。

今回は、当普及指導区におけるこれらの活動について、その一部を紹介いたします。

二 県民参加による森づくり

県民が森づくり活動に参加できる森林の設置や森づくり活動を行う団体への支援を行っています。

① 龍ノ口グリーンシャワーの森を守る会

岡山市中区祇園に位置し、年間6万人を超える利用者が訪れる「龍ノ口グリーンシャワーの森」の管理を行いながら「保育のつどい」を年2回開催しています。今年度は10月と12月に開催され、公募による参加者が広葉樹の整備やつる切り作業のほか、杉玉やリース、木製のペン立てづくりなどを楽し

みました。

② 「森の育て親・建部」連絡協議会

岡山市北区建部町富沢の里山林を整備しながら、自然体験の場として地域の親子に提供するなど、岡山ESDプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。この3月22日には「建部里山祭り」が開催され、薪割り体験、野鳥の巣箱づくり、シイタケの植菌、竹細工や木工、シビエ料理の販売などが行われる予定です。

③ 未来へつなぐ森林体験実行委員会
 地域の貴重な森林を次世代に引き継いでいきたいという思いから、岡山森林組合、おかやまの森整備公社、岡山市が構成員となり、岡山市北区御津及び建部で活



未来へつなぐ森林体験実行委員会
 (枝打ち体験)

動する組織です。地域の児童・生徒から参加者を募り、ヒノキやアカマツ林で、下刈りや間伐、枝打ちなどの森林整備体験を実施しています。

三 企業による森づくり

社会貢献活動の一環として森林保全活動に取り組もうとする企業等からの要請に応えるため、平成20年度から「企業との協働の森づくり事業」に取り組んでいます。

① クラレ岡山みらいの森

株式会社クラレ岡山事業所による「クラレ岡山みらいの森」は、吉備中央町岨谷の町有林を活動の場として、平成20年度に町と協定を締結し、今年で7年目の活動となります。約1.5鈔のアカマツ林と葉たばこ畑跡地において、年8回、間伐や広葉樹の植栽などに9百名近い職員が順次参加しています。

② 岡山県森林土木建設協会の森

治山・林道事業の関係建設業者で構成する岡山県森林土木建設協会が、吉備中央町の町有林整備に寄付を行うこととして、平成27年1月に町との間で覚書が交わされ

ました。平成30年度までの5年間に150万円が寄付されることとなり、吉備中央町小森ほか約13鈔で、今年度から間伐が実施されています。



クラレ岡山みらいの森
 (アカマツ林の整備)

四 おわりに

森づくり活動の取り組みには、参加者を牽引するリーダーの存在が必要不可欠です。いくら活動フィールドや資機材があっても、リーダーとリーダーを支える方々がいなければ活動は継続しえません。普及指導区としては、今後もリーダーや組織への支援を継続していくこととしています。

(岡山普及指導区 井上真吾)

普及情報
**森林作業道
 作設オペレーターの育成**



一 はじめに
 路網整備の推進にあたっては、専門的かつ高度な知識・技術を有し、間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者を確保・育成する必要があります。そこで、森林作業道を作設するオペレーターの育成を目的として研修を行いました。その概要を報告します。

二 森林作業道とは
 森林作業のために特定の者が継続的に利用する施設であり、主として、林業機械（フォワーダ等）や2トン積程度の小型トラクタの走行を想定しています。

三 研修の概要
 森林作業道づくりに必要な施業に適した路網計画を策定できる基礎的な知識と作設技術の習得を目的としています。『基礎研修』は森林作業道の作設経験が浅い方を対象とし、『応用研修』は森林作業道の作設経験（1,000時間以上又は5km以上）を有し、国、県等が実施した作業道作設研修の修了

者を対象としています。

② 応用研修（9月2日～9月5日）
 現地実習の講師として、最前線で活躍されている林業事業者のオペレーターを招き、実践で生かせる内容を取り入れています。



地形図や航空写真を見ながら机上で路網計画を考えています。

① 基礎研修（8月5日～8月8日）
 簡易で丈夫な森林作業道づくりの基本となる土工（片切片盛、締め等）の工程を実習します。



5t級のバックホウを使用し、作業工程を習得しています。

基礎研修で習得した基本となる土工を応用し、S字カーブの作設を実習します。



曲線半径、縦断勾配、土量等を考慮し、S字カーブの線形を決定しています。

四 研修生の声

研修後に今後の抱負を尋ねたところ、「土の動きをイメージする。」「自分の技術を高める。」「学んだことを生かす。」「自分が作った道に責任を持つ。」「作業効率を考える。」「指導者になる。」などがあり、『知識・技術』と同等に大切な『やる気』も身につけることができたようです。

五 おわりに

このような集合研修は、知識や技術の習得に加え、様々な林業事業者で働く研修生同士が交流する

ことで、より良い道づくりの動機付けにもつながります。今後も、オペレーターの研修や牽引役となる指導者の研修を行い、優秀な現場技能者を育成していきます。



基礎研修の講師、研修生、スタッフ



応用研修の講師、研修生、スタッフ

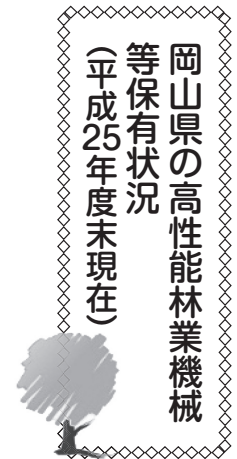
（普及推進課 林業普及推進班）



刃物は曲刃となっています

岡山県における高性能林業機械等の保有台数は、平成25年度末現在で227台となっており、美作県民局管内で全体の約7割を占めています。(表-1)

機種別保有台数推移については、ここ3年で「その他の高性能林業機械」の保有台数が大幅に増加しています。55台のうち53台がフォーク収納型グラップル機械となっています。(表-2)



(表-1) 県民局別高性能林業機械等保有台数 (平成25年度末現在)

単位：台

県民局	機種	フェラーパン	スキッダ	プロセッサ	ハーベスタ	フォワーダ	タワーヤーダ	スイングヤーダ	その他	計	グラップルソー	合計
備前県民局				1	1	3		1	1	7		7
東備地域事務所					1	2		1		4		4
小計				1	2	5		2	1	11		11
備中県民局												
井笠地域事務所												
高梁地域事務所				3	1	2		2		8	2	10
新見地域事務所			1	1	9	9		11	11	42	4	46
小計			1	4	10	11		13	11	50	6	56
美作県民局				15	4	17	2	10	7	55	4	59
真庭地域事務所				14	10	3		6	32	65	6	71
勝英地域事務所			1	6	4	9	1	5	4	30		30
小計			1	35	18	29	3	21	43	150	10	160
合計			2	40	30	45	3	36	55	211	16	227

(表-2) 高性能林業機械等の機種別保有台数推移 (平成21年度～平成25年度)

単位：台

機種名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
フェラーパンチャー						
スキッダ		1	1	1	2	2
プロセッサ		36	40	39	44	40
ハーベスタ		14	19	21	23	30
フォワーダ		33	37	38	37	45
タワーヤーダ		4	4	3	3	3
スイングヤーダ		22	22	25	34	36
その他の高性能林業機械		6	9	22	40	55
小計		116	132	149	183	211
グラップルソー		10	11	13	15	16
合計		126	143	162	198	227



伐った木をつかんでかわします

従来、作業道の作設はチェーンソー伐開↓伐採木を重機等でかわす↓土工工事といった工程で行いますが、このフォーク収納型グラップル用機械はそれらの工程を1台でこなすため、作業の省力化につながることから普及が一気に進みました。

また、型式によっては大径の立木伐採も可能なことから高齢級の間伐にも対応できると期待されています。

(林政課 普及指導班)

研究だより

『ヒノキの「良さ」に
関する再考』

一 ヒノキの固定概念

我が国ではヒノキという言葉に
対し、「高級」、「和風」、「伝統的」
といった印象が定着しています(図
1)。この固定概念は、伝統建築や
和室の構成部材としての需要獲得
に対する大きな武器の1つである
と考えられます。

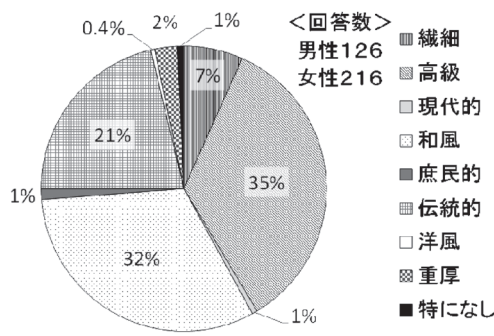


図1 ヒノキに対する印象は？ (複数選択式) (H25調査, 於 倉敷市)

二 若年世代における印象の変化
一方、実際のヒノキ内装モデル
を用いた、視覚的印象調査を行っ
てみると、比較的高齢の世代では、

ヒノキ内装モデルにやや「和風な」
印象を抱いたのに対し、より若齢
の世代になるほど、その印象が薄
れ、代わりにやや「現代的」な印
象を抱く傾向が見られました(図
2中の破線で囲まれた部分)。この
結果は、先述のヒノキの固定概念
とは反するもので、若齢世代にお
いて、従来の固定概念が薄れつつ
あることを示唆しています。

三 固定概念が薄れると？

ヒノキの固定概念が薄れるとど
うなるでしょうか？まず、伝統建
築や和室におけるヒノキの優位性
が薄れることが危惧されます。一
方で、より多様な住宅様式に適応
出来る可能性も拡がるでしょう。
しかし、ここで良く考えなければ
ならないのは、いずれの場合も今
後ありとあらゆる建材と、先入観
なしの同じ土俵で競合していか
なければならぬということです。

四 ヒノキに期待されていること

様々な競合製品の中から敢えて
ヒノキが選択されるための「良さ」
は何でしょうか？一般県民へのア
ンケート調査で1つの明快な回答
が得られました(図3)。複数選択
式で選択された全項目の中、「香り」
の選択数は約半数を占めます。回

答者の割合で見ると、約9割が「香
り」を選択していました。

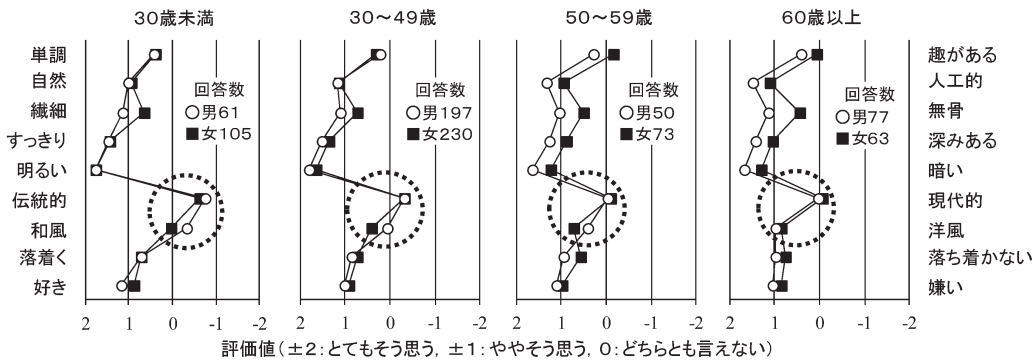


図2 ヒノキ無垢内装モデルを見た際の、消費者の世代別印象評価傾向 (H24調査, 於 倉敷市・津山市)

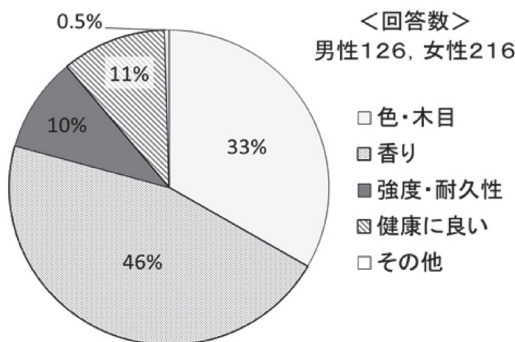


図3 ヒノキの良さは何ですか？ (複数選択式) (H26調査, 於 倉敷市)

五 ヒノキだけの「良さ」とは？
ヒノキの香りは、ヒノキチオー
ルやガジノール等、ヒノキ科に特
有な成分に由来するもので、他に
はない香りです。ほとんどの消費
者がこの香りをヒノキの「良さ」
として認識しているわけですから、
生産者側も競合製品に対する大き
な武器として認識すべきです。
今後は、香りを出来るだけ失わ
ない加工技術の開発や、香りの良
さを意識づける普及活動等、香り
を軸とした将来戦略が重要になる
と考えます。

(森林研究所 木材加工研究室)

CLTの普及に向けたロードマップが公表されました

近年、新たな木材の活用方法として、CLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）が注目を集めています。CLTは、ひき板（ラミナ）を繊維方向に直交させて積層接着するパネルで、寸法安定性や断熱性、強度が高いなどといった特徴があり、この建築方法が確立されれば、木材の利用が更に進むと期待されています。

このような中、林野庁と国土交通省は、CLTの普及に関する施策を計画的に進めるとともに、その具体的内容とスケジュールを幅広く周知し、関係者の取組を促進するため、平成26年11月11日に「CLTの普及に向けたロードマップ」を公表しました。このロードマップでは、平成28年度に基準強度や一般的な設計法を告示し、大臣認定を受けずにCLT工法の建築を可能とすることや、毎年5万立法程度の生産体制を順次整備し、平成36年度までに年間50万立方メートル程度の生産体制を構築することなどが目標として掲げられています。

岡山県内には、全国に先駆けて整備したCLT製造施設があることから、今後、CLTの普及に伴い更なる県産材需要の創出が期待されています。

そこで、12月に行われたCLTの普及に向けた2つの取組について紹介します。

一 CLT住宅構造見学会及び普及推進シンポジウム

平成26年12月22日に、真庭市内で建設中の勝山共同住宅（真庭木材事業協同組合の社員寮）において、CLT住宅構造見学会が行われました。見学会では建設中の建物内部に入り、CLTがRC造の耐力壁や床のように面的な構造体として使われている様子や、通常の木造住宅と比較して圧倒的に多くの木材が使用されている様子を間近で確認することができました。

また、CLT建築物の特徴の一つに施工性の良さがあり、今回見学した共同住宅においても、クレーン2台を使い1日で建方が完了したとのことでした。

午後からは、勝山文化センターで、CLT普及推進シンポジウムが開催され、「バイオマス産業都

市真庭からCLTの普及推進に向けて」をテーマに、東京大学名誉教授の有馬孝禮氏（ありまたかのり）がコーディネーターとなり、木幡岡山県副知事など4人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。パネリストにより様々な意見交換が行われ、CLTは新たな建築資材として大きな可能性を秘めている一方、原木やラミナの安定供給の構築、再造林による資源の

循環利用などが今後の重要な課題となるなどの意見が出されました。

二 CLTの空港展示

CLTの普及を図るため、県内外の多くの人が利用する岡山空港に、CLTの建築物の模型等を展示しました。岡山空港をご利用の際は、是非ご覧ください。

【設置場所】

岡山空港ターミナルビル2階
国内線搭乗待合室2箇所
（ANA及びJAL搭乗口前）

【設置期間】

平成26年12月17日から
平成27年11月30日まで

【展示物】

- ① 真庭市営住宅の30分の1の模型
- ② CLTカット部材
- ③ CLT解説パネル



CLT普及推進シンポジウム
（パネルディスカッション）



CLT住宅構造見学会
（建物内部の状況）



（林政課 林業木材班）
CLT空港展示

おかやま森づくりサポートセンターからの紹介



県民共有の財産である森林を適切に管理し、将来にわたってその恩恵を受けるためには、県民参加の森づくり活動等により守り育てる必要があります。

このため、森林ボランティアグループ等が行う自主的な森づくり活動を支援する拠点として、「おかやま森づくりサポートセンター」を、平成24年6月に設立しました。

当センターでは、森林ボランティア活動に取り組む会員の皆様をサポートする様々なメニューを用意しており、今回はその内容をご紹介します。

一 保育のつどい等の開催

下刈りや枝打ち等のつどいをセンター会員に委託して実施しているほか、会員団体自らが参加者を公募して行う森林整備、竹林整備、きのこ栽培、炭焼き、自然観察会に要する経費について支援しています。

二 森づくりサポートの派遣

森づくりの知識・技術を有する指導者をサポーターとして、「自然観察」や「森林レクリエーション」等、得意分野毎に登録し、小中学校や森林ボランティア団体からの派遣要請に応じて派遣しています。

三 森づくり活動への情報提供

センターのホームページを通じて、保育のつどい等の参加者を公募しているほか、森づくりに関する様々な情報を提供しています。

四 森林ボランティア団体の交流促進

各団体が持っている知識や技術、又、活動で生じた課題等の情報を団体間で共有するため、研究会や交流会を開催しています。

今年度は、午前中に森林インストラクターを講師に招き、「キノコに優しい森林施業（植栽や伐採による発生環境の整備方法）」というテーマで、アカマツ林内でマツタケの発生環境の整備（灌木の除去及び地掻）に取り組み、汗を流しました。

午後からは、「毒キノコの見分け方」についての講演会、さらにポスターセッション方式により、会

員団体の紹介及び活動事例等の紹介、情報交換を行い、会員相互の交流を図りました。



交流会の様子



研修会の様子

五 森づくり活動の相談窓口

森づくり活動に関する指導助言を行う相談窓口を3地域（各県民局内の林務団体事務局）に設置しています。

六 資機材の貸出

下刈り鎌、鋸、ヘルメット等森林ボランティア活動に必要な資機材の管理及び貸出を行っています。

最後に、現在、41団体が当センターの活動に賛同して、会員となっています。森林ボランティア団体の活動の輪を広げるためにも是非、参加をご検討ください。詳しくは当センターホームページをご覧ください。

おかやま森づくりサポートセンターホームページアドレス

(<http://okayama-morisapo.org/index.html>)



この事業には「おかやま森づくり県民税」が活用されています

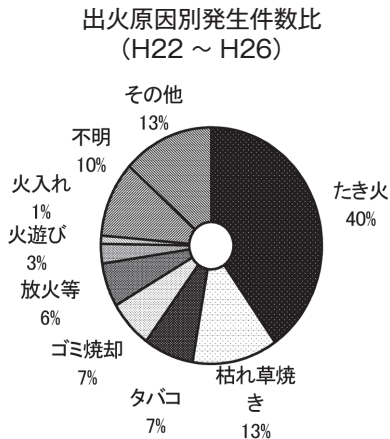
（林政課 森林保全班）

3月は山火事予防月間です

冬から春先にかけては、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が大変起こりやすい季節です。

過去五年間で、岡山県では368件の山火事が発生し、161鈔の緑が失われました。原因のほとんどが、たき火の始末、たばこの投げ捨て、火遊びといった人の不注意によるものです。

岡山県では、3月を「山火事予防運動月間」として、「伝えよう 森の大事さ 火の怖さ」を統一標語に山火事の予防を呼びかけます。



- ※山火事を防ぐ6つのポイント
- 強風・乾燥時はたき火をしない
 - たき火の後始末は完全に
 - タバコの投げ捨てはしない
 - 子供の火遊びはダメ
 - 山焼きやあぜ焼きなどは一人でしない
 - 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課 造林班)

FOREST INSURANCE

森林 国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で7千万円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 21,225円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 37,375円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約 350円

わずか缶ビール
1本分

1ヶ月あたり
約 620円

わずかラーメン
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林企画課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455 (直通)

技能講習会の開催(4~6月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申込・問合せ先	
小型移動式クレーン運転	岡山	5月14, 15日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571	
	津山	6月3, 4日		
玉掛け	岡山	4月9, 10日・5月2, 3日・ 5月7, 8日・6月11, 12日		
	新見	5月11, 12日		
	和気	5月21, 22日		
	津山	5月28, 29日		
	笠岡	6月18, 19日		
	玉野	6月22, 23日		
林業架線作業主任者免許試験受験準備	岡山	4月16, 17日		林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 221-2160
刈払機作業従事者	津山	5月14日		
	岡山	5月21日		
	新見	6月4日		
伐木	津山	6月25, 26日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661	
移動式クレーン運転士		5月14日		
林業架線作業主任者		6月9日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332	
はい作業主任者	岡山	5月14, 15日		

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
3. 15 (日) 9:00 ~ 12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第179回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 TEL (0866) 62-8614
4. 19 (日) 9:00 ~ 12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第180回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 TEL (0866) 62-8614

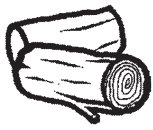
—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 **バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕 センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：口植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



林産物市況



木 材 (2月10日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3m	14～16	12.5	9.5	檜	3m	14～16	17	13
		18～20	12.5	9.5			18～20	16	13
		22～28	12	10			22cm上	16.5	15
	4m	18～22	11.5	10～		4m	16～18	17.5	9～
		24～28	11.5	10～			20～22	18	16
6m	16～18	15	10	24～28	18	16			
松	3m	18～22	14	8	6m	14～16	29	25	
	4m	18～22	16	10		18～20	29	25	

・出荷材積 約 1,500 ㎡

(共販所より概況)

杉概況：全体的に横這い

小径材 横這い

柱 材 横這い

中目材 横這い

桧概況：全体的に弱含み

小径材 横這い《3m》

柱 材 弱含み《3m》

中目材 弱含み《3m》

松概況：全体的に横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (2月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備考
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	53,000～58,000	
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	53,000～55,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	60,000～65,000	
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	55,000～60,000	
マ ツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一 等	K	65,000	
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特 等	G	56,000	
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特 等	G	58,000～	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特 等	K	70,000～75,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特 等	K	56,000～60,000	国内挽

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

共販日(記念市)のご案内 岡山県森林組合連合会



4/10 (金) 津山木材共販所 開設53周年記念市

4/17 (金) 勝山木材共販所 開設49周年記念市

4/22 (金) 新見木材共販所 開設51周年記念市

◆各共販所とも多くの出荷をお待ちしております。

6/5 (金) 乾しいたけ春季特市



岡山県乾椎茸品評会・箱物コンクールを開催します

ので、多数のご出品・ご参加をお願いします。(出品締切5/20)





緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
 防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
 TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
 春のみどりの月間
4月1日～5月31日
 秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
 岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 切土軟岩用	森樹郎マット 切土土砂用	森樹郎マット21 切土土砂用	張りウッド 盛土用	ハリシバモック 盛土用

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
 間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
 津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる

スミパイン® 乳剤・MC
 積れる松枯れ防止用散布剤

モリエート® SC
 ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング® SP

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー® 40
 伐倒駆除剤

パインサイド® S油剤D
 樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社
 大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871

平成二十七年三月一日(第四〇号)
(隔月一日発行)

編集発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



CT-500B GP-532
小型ハイパワープロセッサ



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

安心と信頼の証を届けます



JQA-QM8203



JAB QS Accreditation No.09

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場 OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
■東京営業所 〒201-0003 東京都柏江市和泉本町1-21-1(201) TEL(03)5761-9577 FAX(03)5761-9587

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

事務局からのお知らせ

事務局では、会員の方からの紙面に対するご意見・ご要望やイベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しておりますので、よろしくお願いたします。お問い合わせ・送付先は次のとおりです。

送付先

〒700-8507

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内 または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内

【編集後記】

・3月になると苗木の植栽が始まります。昔に比べると造林面積は大幅に減少していますが、林業サイクルのひとつとして重要な役割を果たしていますのでどんどん植栽していただきたいものです。(U)

・1年間ご愛読ありがとうございました。あつという間の1年間でしました。また、新たな気持ちで来年度も取り組もうと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。(M)



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)

R70

認定番号 K0809236